

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	平成26年度 第2回ジョンソン基地跡地利用計画審議会
開 催 日 時	平成 27年1月14日(水) 午後1時00分 開会、午後3時00分 閉会
開 催 場 所	入間市役所5階：全員協議会室、東町側留保地
議 長 氏 名	関根栄一
出席委員(者)氏名	青山正一、安孫子学、岩井絹江、岩崎 茂、大賀志日出輝、 久原愛生、小鹿広美、駒月理人、澤田壽一、関根栄一、 高石直美、高橋康造、瀧 和之、豊泉一雄、吉川弘三
欠席委員(者)氏名	なし
説明者の職氏名	課長 長谷川芳明、副主幹 石井英寿
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	1 開会(非公開) 2 議題(非公開) (1) 視察の概要説明 (2) 東町側留保地の視察 3 次回の日程 4 閉会
非 公 開 理 由	入間市情報公開条例第24条第2号 関東財務局による留保地の 管理業務に支障を及ぼすおそれがあるため
傍 聴 者 数	なし
配 布 資 料	・資料5 東町側留保地視察行程表
事務局職員職氏名	企画部次長 加藤保夫、企画課長 長谷川芳明、副主幹 石井英寿、 主事 松本幸文、主事補 齊藤正文
会議録作成方法	要点筆記

会 議 録 (2)

議 事 の 概 要 (経 過) ・ 決 定 事 項

事務局から視察の行程を説明した後、東町側留保地周辺および留保地内の状況について視察した。

會議錄 (3)

発 言 者	発 言 内 容
	(委員及び事務局の発言が行われた部分のみ記述する)
関根会長	<p>ただいまの出席委員は14名で、お一人から遅れる旨の連絡を受けております。定足数に達しておりますので、これより、第2回ジョンソン基地跡地利用計画審議会を開会します。</p> <p>早速、議事に入ります。議事(1)視察の概要について、事務局より説明を求めます。</p>
長谷川課長	<p>本日の概要につきまして、申し上げます。</p> <p>資料5をご覧ください。こちらが本日の行程です。この後マイクロバスで移動になりますが、最初に入間基地の中から留保地を確認していただきます。そのあと実際に留保地の中へ入っていただき、現地を確認していただきます。寒い中でもありますので、マイクロバスを降りて徒歩で歩いて見て回るというのではなく、マイクロバスや乗用車から概要を見ていただきたいと思います。</p> <p>資料の次のページA3版の地図をご覧ください。こちらは本日の案内図になります。最初に入間基地の中から、留保地をご覧ください。上の方の1番の地点、こちらが彩の森公園の一番奥の部分にあたります。入間基地と彩の森入間公園と留保地の境界です。こちらから留保地とのフェンスに沿って、2番の西武線側まで移動いたします。</p> <p>その後、基地の中の踏切を経由して、西武線の向こう側、滑走路の方から留保地の状況をご確認いただきます。滑走路側にも矢印があるかと思いますが、豊岡第一病院のところまで基地の中を移動して、また戻ってくるという流れでございます。基地の中では、入間基地の職員にもバスに同乗してもらい、案内いただく予定であります。</p> <p>なお、1番の地点からうすい灰色の太線で右上方向に線路を越え書かれ</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>ている線がありますが、この直線が入間市と狭山市の境界になります。です。留保地や彩の森入間公園は全体が入間市域にあり、入間基地にも少し入間市分があるといった状態でございます。</p> <p>以上基地の中からご覧いただいたのちに、留保地の中へ向かいますが、地図の下方、東町中学校の脇から中に入ります。</p> <p>基地の中は木が茂っており、マイクロバスで回ることも困難ですので、現地で乗用車にお移りいただいて、留保地の中を回ります。3台の車を用意しましたが、人数の関係で前半、後半二つのグループに分けしまして、視察いただきます。要所要所では車を止めたいと考えております。</p> <p>現地につきましては、地図上は家の跡も載っておりますが、現在は家屋も撤去され基礎部分が残っているのみで、木が生い茂っている状況となっております。財務省関東財務局で管理しており、警備員が常駐して定期的に巡回して管理をしている状況でございます。今回、財務省から許可を得ましたので、中をご覧いただくということでございます。</p> <p>なお、新聞報道等でご存じかと思いますが、暮れから入間市内でカラスの大量死が確認されております。彩の森入間公園でも確認されており、隣接している留保地でもそういうことがあるかもしれません。留保地の中は一般に入れる場所ではございませんので、きれいに清掃されているわけでもございません。今回、管理している関東財務局からも視察にあたって、そういういったものがあるかもしれないが、やたらに触らないようにとの連絡をいただいているところでございます。</p> <p>それから、この地図の留保地の外周部分に概ねの距離を記載しております。地図上の計測ですが、北側の入間基地境が約330m、東側、線路の部分が約680m、南側については一部住宅地がございしますが、中学校の境から踏切まで直線ではおよそ630mかと思っております。</p> <p>地図の左下に東町小学校・中学校がございしますが、こちらと比較していただくとその大きさがわかるかと思っております。</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>よくマスコミで広さを表すのに、東京ドーム何個分という表現をいたしますが、その言い方をすれば、28haは約6個分となります。</p> <p>地図の周りに写真を載せておりますが、本日行くところの写真をあらかじめ撮らせていただいて、お作りしたものです。冬場の時期ですので、葉が落ちて明るく写っておりますが、夏場は葉が生い茂ってうっそうとしております。</p> <p>3枚の航空写真をつけてございます。1枚目の写真をご覧いただきたいと思います。こちらの写真は平成19年のものですが、左側の池のあるところが彩の森入間公園で、そこから右側の緑の一角が留保地です。現状もこのような状況です。</p> <p>下側の東西に市道幹2号線が通っていますが、その北側に三角形で住宅街があります。この住宅地は、東町2丁目という町名となっておりますが、留保地は向陽台2丁目という町名です。</p> <p>次の航空写真をご覧ください。こちらは昭和31年のものですが、この時点では米軍の住宅が立ち並んでいることが確認できます。現在入間基地となっている部分にまで住宅街は広がっており、返還後もしばらくは、この状態が続いておりました。今日では、この住宅地に木が生え、緑で覆ってしまっている状態でございます。</p> <p>最後の写真をご覧ください。三角の住宅街のところが大きく映っている昭和21年の戦争直後のものです。まだ米軍による住宅建設前のものがあります。こちらの一行に並んでいる宅地は、奥多摩の小河内ダムの建設に伴い一部の方が昭和13年に集団で移住されてきたものであります。移住されてきた方は基地になった部分を開墾して畑にしておりましたが、士官学校用地として買収をされという経緯がありまして、この宅地部分は買収されず残ったものであります。</p> <p>以上は参考までに提供させていただきました。</p> <p>本日は、留保地の外から、また留保地の中に入って視察いただくわけで</p>

発 言 者	発 言 内 容
関根会長	<p>すが、今後審議いただくにあたりまして、基地や住宅街との位置関係、広さ、また現状の様子についてご確認をいただきたいと思います。</p> <p>私からの説明は以上でございます。</p> <p>事務局の説明に質問はございませんか。</p> <p>(なし、の声あり)</p>
関根会長	<p>無いようですので、議事（１）については以上で終了とします。次の議事は東町側留保地の視察ということですので、事務局にお任せしたいと思います。</p> <p>これから、東町側留保地の視察いただくわけですが、視察後、市役所の正面ロータリーで散会とさせていただきますと思います。</p>
石井副主幹	<p>移動いただく前に、次第の３にあります次回の日程を先に申し上げます。以前、委員の皆さんに会議の希望日や時間帯をお聞きしましたが、その結果に基づいて、次回の審議会は２月９日（月）の午後１時３０分からとさせていただきます。場所につきましては、市民活動センターの会議室を予定しておりますが、詳細は後日、通知いたします。</p> <p>それでは、職員がご案内しますので、マイクロバスまで移動をお願いいたします。なお、視察後この部屋には戻りませんので、お忘れ物の無いようお願いいたします。</p> <p>(入間基地側から東町側留保地を視察)</p> <p>(東町側留保地内を視察)</p>
加藤次長	<p>本日は、お疲れさまでした。</p>

議事の内容・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

27年 1月29日

議 長 の 署 名

関根 栄一

議長が指名した者の署名

安孫子 学